

◆市・県民税の申告は3月15日まで

市内10会場と郵送で受け付け

申告の内容は、平成30年度の市・県民税や国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料などの算定の基礎になります。所得や課税証明を取得するためにも、手続きが必要です。

申告が必要な人

30年1月1日に久留米市に住んでいて、次のいずれか

- かに当てはまる人です。
- 29年中に事業・不動産所得などがあり、所得税の確定申告をしない人
- 給与所得者で、29年中に20万円以下の事業・不動産所得があった人
- 勤務先から市に29年分の給与支払報告書が提出されていない人
- 国民健康保険・後期高齢

医療費控除が変わります

◆医療費の領収書は添付不要に

医療費の控除を申告する場合は、「医療費控除の明細書」の記入と添付が必要です。医療費の領収書の添付や提示は不要となります。

◆セルフメディケーション税制が始まります

スイッチOTC医薬品（※）の年間の購入額が12,000円を超えると、健康診断や予防接種など、健康維持・増進や疾病予防に取り組んでいることを条件に、所得控除を受けることができます。ただし、医療費控除との併用はできません。詳しくは、国税庁や厚生労働省のホームページを確認してください。

※医師の処方が必要な医薬品から、薬局などで購入できるようにされた医薬品

医療費控除の特例

検索

申告に必要な物

- 申告書（会場にも準備）
- 印鑑
- 個人番号（マイナンバー）カード、または通知カードか個人番号が記載された住民票の写しと、運転免許証や健康保険証などの本人確認ができる物
- 29年中の所得を証明でき

申告会場と日時

- 本庁舎2階くろみホール、各総合支所・2月16日(金)から3月15日(木)まで
- コミュニティセンター上津校区会館・2月15日(木)から19日(月)まで
- 筑邦市民センター多目的棟・2月20日(火)から23日(金)まで
- コミュニティセンター高良内会館・2月26日(月)から28日(水)まで
- くれあい農業公園・3月1日(木)、2日(金)、6日(火)
- 安武校区コミュニティセンター・3月5日(月)いずれも、受け付けは平日の9時～16時。筑邦市民

久留米税務署からのお知らせ

久留米税務署は、所得税や贈与税、消費税、地方消費税などの申告相談を受け付けます。申告書には、マイナンバーの記載と本人確認書類の提示または写しの添付が必要です。

■期間 2月16日(金)から3月15日(木)までの平日 ■受付時間 9時～16時

久留米税務署 (☎0942・32・4461)

郵送申告も可

会場で申告するか、申告書を郵送してください。郵送の場合、証明書類などは申告書に貼り付けずに同封してください。市ホームページで税額の試算と申告書の作成ができます。

市市民税課(☎830・8520住所記入不要、☎0942・30・9008、☎0942・30・9707)

まちの話題

五木ひろしさん 久留米を熱唱

◆作曲したご当地ソングを披露

1月21日、歌手の五木ひろしさんが、久留米シティプラザの六角堂広場で、久留米をテーマにした新曲「ほとめきの風〜久留米より」を披露しました。橋原利則前市長の依頼で五木さん自身が作曲したものの、歌詞には、高良山や筑後川などが盛り込まれています。約1000人が来場し、五木さんの歌声に聞き入っていました。

会場に詰め掛けたファンと記念撮影する五木さん

舞台技術を体験 ◆はじめての演劇祭

1月20日と21日、久留米シティプラザで、「はじめての演劇祭」が開催されました。市民参加型の演劇塾の発表会や、演劇を身近に感じられる体験ブースなどもあり、約800人が来場しました。

音のデザイン体験で、刀の動きに効果音を付ける操作をした小学2年生の松尾心愛さん(みやき町)は、「音が入るだけで、お芝居の雰囲気や、がらっと変わって面白いと思った」と話しました。

演者の動きを見ながら、音を出す機器を操作する松尾さん

市政の動き

耳納フォトコン 前期入賞者が決定

NPO法人久留米ブランド研究会が、写真共有アプリケーションで開催している「撮れたて！耳納北麓インスタグラムフォトコンテスト」。前期締め切りの12月17日までに投稿された、「耳納北麓に行きたくなる写真」228点から、入賞作品2点が決まりました。グランプリは、「chika x84」さんの作品です。後期は3月18日(日)が締め切りです。

このコンテストは、観光客にも久留米の魅力発信をしようという目的です。久留米市は、観光のPRをさらに進めるために、現在、雑誌やテレビ番組の制作を行っています。

観光・国際課(☎0942・30・9137、FAX0942・30・9707)

ラジオ体操 指導者を養成

1月20日、久留米市は、みづま総合体育館でラジオ体操指導員講習会を開き、161人が参加しました。元NHKテレビ・ラジオ体操アシスタントが講師として、実演を交えながら指導。参加者は、正しい体操の仕方や動きのポイントなどを学びました。参加者は、同講座を受講後、ラジオ体操指導員の資格を取得でき、各地域や団体でのラジオ体操の普及を進めます。

健康推進課(☎0942・30・9331、FAX0942・30・9833)



グランプリの作品。柳坂曾根のハゼ並木を巧みに納めています



上げる手の角度など、一つ一つの動きをしっかり確認